

・イニシエイトへの道

魔法使いが世界と魔力への理解を深めていくことでイニシエーションを行うことができます。このイニシエーションを行った魔法使いのことをイニシエイトと呼びます。

イニシエイトとなることで以下の利点があります。

- ・魔力の“上限”が1増える。
- ・メタマジックを取得できる。
- ・イニシエイト専用儀式呪文を取得できる。
- ・イニシエイト専用付与魔法を取得できる。

また、イニシエイトの回数の上限は魔力回ですので、魔力を成長させれば際限なくイニシエーションする事ができます。

人が集まれば派閥ができるのは魔法使いと言えども例外ではありません。

イニシエイトは特定の学派に加わることで、その学派専用のメタマジックや儀式呪文、魔法化合物を取得する事ができます。

この学派に加わるには学派をメタマジックとして取得する必要があります。

・イニシエイトの費用

イニシエーションをカルマが必要になります。

必要カルマ：10+（新しい階梯×3）

これにより上昇するのはイニシエイト階梯のみであり魔力の上昇は別にカルマを支払わなければなりません。

ですが、この費用を減らすこともできます。

これには3つの選択肢があります。

- ・試練を受ける
- ・イニシエーションに協力してくれる魔術結社に加入する
- ・大学に通う

これらはそれぞれ10%づつカルマコストを低下させてくれます。

ただし、通学には5週間の時間と1万ニュー円の学費が必要になります。

これらを重複させることで最大30%までカルマコストを減少させることができます。

試練や通学に関しては詳細はルールを参照ください。

・魔術結社への加入

最後に魔術結社への加入に関して説明しましょう。これは加入と書いていますが、自分で結社を結成しても構いません。結社に加わるには以下の条件を満たす必要があります。

- ・5カルマ支払う
- ・結社に対する結合の儀式に成功する
- ・最低1個づつ結社に対するものと自分自身に対する誓約を行う

ちなみに結合の儀式に関しては儀式呪文であるため儀式のリーダーはこの儀式呪文を知っていれば執り行うことができます。

既存の結社に加わるためには結社毎に様々な条件を持つものもあります。

4th時代はルールで明確化されていましたが、5thになり明確なルールはなくなりGM判断で誓約などの内容を調整することになりました。

例外的に儀式呪文によらず結社への加入の方法があります。それは刺青魔法です。

刺青魔法はアデプトのみの魔術結社で魔法使いに頼りたくない場合や、マンデイン（魔力を持たない相手）を結社に加えるために使用されます。

刺青魔法は取得に5カルマと2週間の訓練が必要です。取得することで対象に刺青を入れることで結社への結合を執り行えるようになります。

このために技能は技工技能を用いる事ができるのです。刺青の気収束具は刺青魔法により作成されます。

刺青魔法による刺青を入れたもの同士はマンデインであっても握手など肉体的な接触をすれば同じ結社の人間か分かります。

魔法の感覚を持つアデプトは他のメンバーがグループと結合しているかを（魔力レーティング）メートル以内であれば知覚する事ができます。これはアストラル投射をしても可能です。

犯罪結社の中にはこれによりグループメンバーが沈黙の誓いを破ったら場合に死の制裁を与えるために使用します。

結社からの脱退は1カルマが必要でマンデインは自力で脱退する事ができません。